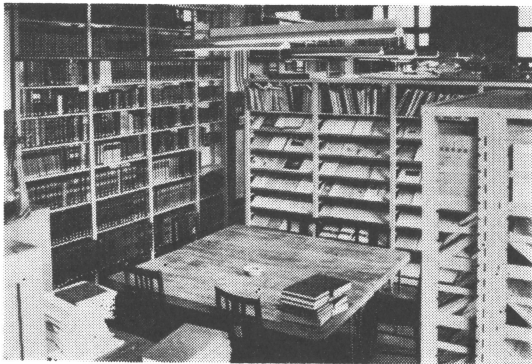


地方だより

当課の図書資料は、内外の気象機関を中心とし、大学研究所との交換または資料購入によって収積されたもので、明治8年東京気象台創設以来のものである。本邦における、地球物理学関係の図書館としては、屈指の内容をもっているといっても過言ではないだろう。特に気象、地震、地磁気、海洋等の資料は、他の図書館にはないものである。これ等の図書資料の中には1850年代のものもあり、最近では、定期刊行物の種類も欧文約25種、和文約100種、資料は欧文約200種、和文約200種に増加している。



閲覧室ならびに開架式書架（閲覧者は自由に図書選択できる）

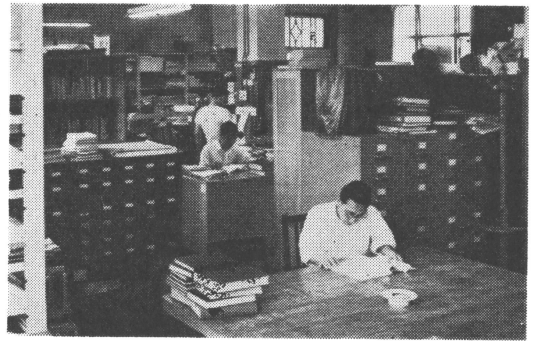
これらの図書資料の利活用については、図書月報を刊行し、論文、文献の紹介、図書、新着文献、資料等の目録を掲載している。これを見ることによって到着状況を知り、地方官署の職員へのサービスにも応ずることができるようにしている。

東京在住の職員は、自分で開架式の書架から、図書を選択して、閲覧貸出しができるので問題がないが、地方官署の職員へのサービスについては、原本の閲覧貸出し

気象庁図書課図書係

ができないから、複写サービスを行うより方法がない。従来はマイクロフィルムによっていたが、最近Thermo-Faxが入荷したので、これを利用することが便利である。資料名と頁数を知らせて貰えば希望に応じることができる。原寸大（B4版）に複写されたFax紙の原価は1枚25円で、B5版2頁が複写される。

図書館用品の改良は飛躍的で、開架式図書棚が増加するとともに、設備も改善され昔の暗い図書館から、明るい図書館へ保管的なものから資料活用に重点をおいた図書館へと意をそそぐこととなった。当課ではまづ閲覧室



閲覧室より図書室を望む

とそれに接する書架の彩光ならびに近代化を計り、現在写真のとおり開架式のモダンな閲覧室となったので大いに利用してもらいたい。閲覧室には、新着雑誌、主要な単行本類を配架し、マイクロフィルム読書器、マイクロカード読書器も設置してある。中でもMicrocards of IGY Meteorological Data は現在約10,000枚が到着し今年中には18,500枚全部入荷の予定である。